

極域科学コース履修モデル 博士後期課程

教育研究指導分野: 極域宇宙圏分野

研究課題: オーロラ現象に対する中層大気への応答に関する研究

年次	全学の科目	単位	基礎科目	単位	概論科目	単位	専門科目	単位	研究指導科目	単位	フィールドワーク他
3	フレッシュマンコース	2	先端地球科学通論1	2			電離圏物理学	2	先端学術院特別研究ⅢA・ⅢB	4	北極域の観測点に同行し、観測機器を設置しデータを取得する。
			先端地球科学通論2	2			地球大気圏科学	2	極域科学特別演習ⅢA・ⅢB	4	
			極域データ解析学	2			超高層大気波動基礎論	2			
							レーダー超高層大気物理学	2			
<p><到達目標> 博士論文の研究テーマ及び研究計画を決定する。フィールドワーク等により、博士論文テーマに沿って必要なデータ取得を行うとともに、データの解析を行う。2月開催の学生発表会で、これまでの研究成果及び今後の計画を発表し、指導教員のみならずコースの教員集団全体のレビューを受ける。</p>											
4							オーロラ物理学	2	先端学術院特別研究ⅣA・ⅣB	4	
							磁気圏物理学	2	極域科学特別演習ⅣA・ⅣB	4	
<p><到達目標> 博士論文作成に必要なデータ取得を完了させ、データの解析を進める。さらに、博士論文の執筆に入る。また、博士論文に関係する内容で、査読ある学術誌に論文を投稿する。2月開催の学生発表会で、これまでの研究成果を発表し、指導教員のみならずコースの教員集団全体のレビューを受ける。</p>											
5									先端学術院特別研究ⅤA・ⅤB	4	
									極域科学特別演習ⅤA・ⅤB	4	
<p><到達目標> 博士論文の執筆を進める。予備審査の段階までに、論文の完成度が博士論文の水準の80%までに至っていることを要する。予備審査後、本審査出願までの間に予備審査委員会による指摘事項をクリアし、博士論文を完成させる。</p>											
	単位数	2		6		0		12		24	

モデル取得単位数	44
修了要件単位数	16

修了要件

先端学術院に3年以上(休学期間を除く)在学すること。
 先端学術院特別研究ⅢA～ⅤBの12単位を含む16単位以上を修得すること。
 指導教員から必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。
 所定の学費等を納めていること(授業料等免除者を除く)。
 (総研大と単位互換協定を結んでいる他大学の授業科目について、一定の単位数まで修了要件の単位数に含めることができる。)